



### 感謝編 感謝報恩 回饋社會(感謝と報恩の念を以って、社会に寄与する)

親愛なる董事長：

お元気ですか。まず董事長とご家族の健康をお祈りいたします。  
わたしは従業員とその家族を思いやる董事長の気持ちにに対してとても感謝しています。それは董事長にとって取るに足らないことかもしれませんが、困窮を極めたわたしの家族にとっては計り知れない援助となりました。董事長の愛は物質的な面だけでなく精神的にもわたしたちを支えてくれました。この世界がこんなに美しいとわたしに教えてくれました。



董事長と金曉康のお父さん

四年前、わたしは大きな病気をしました。それは全く青天の霹靂で、安定した日々が崩れていくような出来事でした。そのとき、わたしはそれほど実感があったわけではありませんが、両親の絶望した様子を見ていると、胸が痛むような思いになりました。両親は日に日に老け込み髪を伸ばしていききました。白髪は髪にまで延び、額と目尻にははわが増えていきました。わたしの治療ははじまりました。薬物による治療で多くの血小板や細胞が破壊されます。母はわたしの髪を梳かしながらすすり泣きました。手も震えていました。おそらく3年間延ばし続けたわたしの髪がばさばさとして抜けていったからでしょう。わたしはそんな母を見て何ともいえない悲しみを感じました。

その一方で母はずっとわたしを励ましてくれました。しかし、それでもわたしは元気がなれず、いろいろなことが信じられなくなっていました。両親が何十年も汗水流して貯めたお金は徐々に減り、底を尽きかけていました。親戚も友達も手を差し伸べてはくれませんでした。時をほぼ同じに祖母が亡くなりました。わたしのことを心配しながら帰らぬ人となったのです。立て続けに起きたふたつの不幸で、両親は憔悴していききました。父は頭を抱えながら嘆息をつき、目は血走っていました。母は毎晩涙を流し、声も出なくなっていました。このときわたしははじめて死がそこまで迫っているような気がしました。

そんなとき父から董事長をはじめ工場の人々がわたしの全快を祈ってくれていると聞きました。董事長の思いやりに涙があふれました。その涙は以前流した病気の辛い涙でも自暴自棄の涙でもありません。それは愛の薫陶の下での幸せの涙でした。このときわたしはこの世には温かい情があることを知りました。たくさんの方がわたしといっしょにいる。わたしは彼らとともに病魔と闘う決意をしました。

その後、みんなに守られてわたしは病魔に打ち勝ちました。このとき、いろいろな感情が入り乱れ、ただ「董事長ありがとうございます。董事長の助けがなかったら今頃わたしは……、わたしの両親は……」ということばだけが口をついて出てきました。これからわたしは立派に生きていきます。わたしのことを支えてくれた人たちのためにも。  
董事長、本当にありがとうございます。心からお礼をいわせていただきます。

### いつもと違った朝

金曉康 敬上

11月23日。それはいつもと違った日でした。強い力がわたしの心に働きかけてきました。合璧会社の企業文化精神という。22日の晩、翌朝3時半に農工商スーパーの前に集合して合璧の社員たちとともにランニングをするという通知を受けました。これ

を聞いたとき、わたしは不快になりました。ただでさえ忙しいのに、どうしてそんなに早く起きて走らなければならないのか。翌日、仕事をやる気もなくしてしまうのじゃないかと思っただけです。それでも集団活動、自分だけやるわけにはいきません。わずかな睡眠をとったあとで目を覚ました。午前3時の空は真っ黒で、少し肌寒さも感じました。わたしが集合場所へ行くとき、会社の同僚もみんな来ていました。そしていっしょに合璧へと向かいました。

合璧に着いたとき、わたしは驚きました。何とそこには合璧の社員たちが元気一杯で立っていたのです。その中には董事長の姿もありました。73歳の高齢者がみんなといっしょにランニングをするとは、考えただけで敬服せざるを得ませんでした。わたしたちは合璧の社員とともに出発しました。合璧の社員は多くは面識がありませんでしたが、みんな笑顔にあふれ、わたしたちにあいさつ言葉をかけてきました。ランニングの途中で、わたしは足が止まってしまいました。しかし、高齢の董事長も走っているのだと思って、歯を食いしばって走り続けました。1時間ほど走ると古樹公園に着きました。わたしたちはそこで体操をしました。わたしは働きはじめてもう何年にもなっていますが、このような活動に参加したのは今回がはじめてです。まるで大きな家族の一員となったような気がしました。体操のあと董事長が話をし、そのあとでハーモニカを吹きました。合璧の社員はそれに合わせて合璧激励の歌を歌いました。その光景にわたしは感動しました。早朝の天気はまだ少し肌寒かったですが、心の中は温かさを感じました。そして、董事長に対して大きな尊敬の念を抱きました。合璧は大きな家族、みんな平等で、年長者は若い世代をきちんと教育している、そんな家族だと思いました。今回の活動は2時間だけの短いものでしたが、入社10年のわたしは多くのことを感じました。一つの企業の文化精神。顧客とともに往つた朝のトレーニング。上から下までともに行う活動。わたしにとってはどれもはじめての体験で、多くのことを学びました。企業がこのような文化や空気をもつことは、社員にとっては一種の力であり精神でもあります。これらがやがて習慣となったとき、企業はもちろん、社員も大きな収穫を得ることになると感じました。

このような環境の下で仕事をする合璧の社員たちはきっと喜びと誇りを持っていると思います。そして、今回そんな彼らと交流の機会が持てたことを、わたしはうれしく思います。よい企業文化の精神は企業の長期発展と安定した成長の鍵です。そして、その基礎は一日にしてできるものではありません。社員の堅い意志と絶えることのない努力によって生まれるのです。合璧のランニングは普通のトレーニングとは違います。董事長の音頭による歌とも違います。それは合璧の社員自らの団結と向上心から生まれたものです。ですから、わたしたちは合璧のスローガンや歌といった形式的なものだけでなく、合璧の社員が持つ情熱と努力を学ばなければなりません。今回のランニングはわたしたちに考える機会を与えてくれました。会社と社員、どうすればウィン＆ウィンの関係を築けるか。どうすれば利益を共有できるか。その答えはここにありました。それは会社と社員のつながり一良好な企業文化の精神と空気です。一社員のわたしでも、できることはたくさんあります。小さなことから同僚とともに、仕事に愛を持ちましょう。細かなところが勝敗を決めます。「会社を我が家のように」その気持ちが大切だと思います。そうすれば、会社は発展し、それとともにわたしたちも発展します。そのためには社員と会社、一体となって努力を続けていかなければなりません。わたしは稲禾の社員も黄總經理の下で明るい未来に向かって歩んでいきたいと思っています。



ゴール目指して頑張っています！

上海合璧電子电器有限公司  
中国201-805上海市嘉定区安亭鎮安樂路318号  
TEL:+86-21-5960-5468

普通トレーニングとは違います。董事長の音頭による歌とも違います。それは合璧の社員自らの団結と向上心から生まれたものです。ですから、わたしたちは合璧のスローガンや歌といった形式的なものだけでなく、合璧の社員が持つ情熱と努力を学ばなければなりません。今回のランニングはわたしたちに考える機会を与えてくれました。会社と社員、どうすればウィン＆ウィンの関係を築けるか。どうすれば利益を共有できるか。その答えはここにありました。それは会社と社員のつながり一良好な企業文化の精神と空気です。一社員のわたしでも、できることはたくさんあります。小さなことから同僚とともに、仕事に愛を持ちましょう。細かなところが勝敗を決めます。「会社を我が家のように」その気持ちが大切だと思います。そうすれば、会社は発展し、それとともにわたしたちも発展します。そのためには社員と会社、一体となって努力を続けていかなければなりません。わたしは稲禾の社員も黄總經理の下で明るい未来に向かって歩んでいきたいと思っています。

普通トレーニングとは違います。董事長の音頭による歌とも違います。それは合璧の社員自らの団結と向上心から生まれたものです。ですから、わたしたちは合璧のスローガンや歌といった形式的なものだけでなく、合璧の社員が持つ情熱と努力を学ばなければなりません。今回のランニングはわたしたちに考える機会を与えてくれました。会社と社員、どうすればウィン＆ウィンの関係を築けるか。どうすれば利益を共有できるか。その答えはここにありました。それは会社と社員のつながり一良好な企業文化の精神と空気です。一社員のわたしでも、できることはたくさんあります。小さなことから同僚とともに、仕事に愛を持ちましょう。細かなところが勝敗を決めます。「会社を我が家のように」その気持ちが大切だと思います。そうすれば、会社は発展し、それとともにわたしたちも発展します。そのためには社員と会社、一体となって努力を続けていかなければなりません。わたしは稲禾の社員も黄總經理の下で明るい未来に向かって歩んでいきたいと思っています。

普通トレーニングとは違います。董事長の音頭による歌とも違います。それは合璧の社員自らの団結と向上心から生まれたものです。ですから、わたしたちは合璧のスローガンや歌といった形式的なものだけでなく、合璧の社員が持つ情熱と努力を学ばなければなりません。今回のランニングはわたしたちに考える機会を与えてくれました。会社と社員、どうすればウィン＆ウィンの関係を築けるか。どうすれば利益を共有できるか。その答えはここにありました。それは会社と社員のつながり一良好な企業文化の精神と空気です。一社員のわたしでも、できることはたくさんあります。小さなことから同僚とともに、仕事に愛を持ちましょう。細かなところが勝敗を決めます。「会社を我が家のように」その気持ちが大切だと思います。そうすれば、会社は発展し、それとともにわたしたちも発展します。そのためには社員と会社、一体となって努力を続けていかなければなりません。わたしは稲禾の社員も黄總經理の下で明るい未来に向かって歩んでいきたいと思っています。

普通トレーニングとは違います。董事長の音頭による歌とも違います。それは合璧の社員自らの団結と向上心から生まれたものです。ですから、わたしたちは合璧のスローガンや歌といった形式的なものだけでなく、合璧の社員が持つ情熱と努力を学ばなければなりません。今回のランニングはわたしたちに考える機会を与えてくれました。会社と社員、どうすればウィン＆ウィンの関係を築けるか。どうすれば利益を共有できるか。その答えはここにありました。それは会社と社員のつながり一良好な企業文化の精神と空気です。一社員のわたしでも、できることはたくさんあります。小さなことから同僚とともに、仕事に愛を持ちましょう。細かなところが勝敗を決めます。「会社を我が家のように」その気持ちが大切だと思います。そうすれば、会社は発展し、それとともにわたしたちも発展します。そのためには社員と会社、一体となって努力を続けていかなければなりません。わたしは稲禾の社員も黄總經理の下で明るい未来に向かって歩んでいきたいと思っています。

普通トレーニングとは違います。董事長の音頭による歌とも違います。それは合璧の社員自らの団結と向上心から生まれたものです。ですから、わたしたちは合璧のスローガンや歌といった形式的なものだけでなく、合璧の社員が持つ情熱と努力を学ばなければなりません。今回のランニングはわたしたちに考える機会を与えてくれました。会社と社員、どうすればウィン＆ウィンの関係を築けるか。どうすれば利益を共有できるか。その答えはここにありました。それは会社と社員のつながり一良好な企業文化の精神と空気です。一社員のわたしでも、できることはたくさんあります。小さなことから同僚とともに、仕事に愛を持ちましょう。細かなところが勝敗を決めます。「会社を我が家のように」その気持ちが大切だと思います。そうすれば、会社は発展し、それとともにわたしたちも発展します。そのためには社員と会社、一体となって努力を続けていかなければなりません。わたしは稲禾の社員も黄總經理の下で明るい未来に向かって歩んでいきたいと思っています。

わたしは稲禾の社員も黄總經理の下で明るい未来に向かって歩んでいきたいと思っています。

### 「品質月」文章コンテスト第3位の作品-作業員の品質管理についての分析

「品質とは作り出すもので、検査によって調整するものではない」。このよく聞くことばからは品質管理に対する重要なポイントを見ることができると。ここでは一作業員としてどうしたらよい品質検査ができるのか。これについて、自分の経験を踏まえて作業員の角度から分析してみたいと思います。

一、目敏い眼と敏捷な動作  
まず作業マニュアルをしっかり見ること。この場合、注意するのは形式ではなく、品名、品番、作業方法とそのポイントなど。続いて製品を自らチェック。これは製品の品質向上上で重要な作業。さらに他の作業員の検査方法を観察。自分がある程度熟練していても、よりよい方法を追求することでさらに効率のよい確実な検査が可能になる。

二、集中して専念  
何事も細心の注意で行う。ガムをかみながら、他のことを考えながら、ボルトを忘れても気付かない……、これでは品質は永遠に向上しない。多くの作業員が適当な気持ちで、どうせあとで検査があるのだからと考えており、作業中も心はここにあらず。自分に対する警告が甘い。いつも品質は作り出すものであると検査によって調整するものではないということをお忘れはいけません。

三、やってみる  
新しいことがあれば必ずやってみる。それは簡単ですすぐできるかもしれない。しかし、実際には失敗を恐れて二の足を踏む。そして機械に少しでも問題が起きると、人の助けを呼ぶ。第一歩が踏み出せないまま永遠に進めない。だから、何事も恐れずやってみること。やってみれば、それは経験となって積み重なっていくのだ。

四、責任を負う勇気を持つ  
だれでも間違いは犯すもの。だから、自分が失敗したとき、勇気を持ってその責任を負うことが大事。言い訳をしたり、それらしい原因を探して責任を逃れたいときではない。わたしが入社1日目、作業マニュアルを見ているとき、大量の不良品が見つかった。わたしは作業マニュアルがよくわからないなどの理由をつけて責任を逃れしたが、あとで友達にこういわれた。「新人を理由に自分の間違いを認めないなら、あなたは永遠に新人のままだ」。これを聞いて言い訳をしてはいけないと思いました。勇気を持って責任を負うことで、自分の間違いがわかり、反省によってそれを教訓として受け入れ、今後同じ間違いを犯さなくなると。責任

任から逃れることは自分が成長するチャンスを逃すこと。

五、勤勉に手を動かす  
人がやるのを10回見るより自分で1回やってみる。人がやるのは簡単そうに見えても、自分でやってみなければその中にどんな苦労があるのかは永遠にわからない。たとえば、ネジを締めるとき、他の人が楽々とやっているのうに見えるかもしれない。しかし、自分でドライバーを握ってみるといろいろなことがわかる。ネジをきちんと合わせないとネジを潰してしまうし、ネジとドライバーの角度を誤るとネジを傷つけてしまう。見た目に簡単なことは自分も簡単にできるとは思っていない。実際に手を動かしてみればじめてそれが経験となり、不良品を減らすことができる。

六、頭を使う  
手を使っても頭を使わなければ高い効果は得られない。作業中は常に頭を使って問題を探し、積極的に改善。これによって不良品は減少し、作業効率も上がる。多くの同僚がこのようにして不良品を減らしている。これは進んで取り入れるべき作業態度。作業中、設備の原理をよく考えることが重要。操作できるだけでは不十分。さらによく知ることで熟練の境地に達する。

七、自己に対して厳しくする  
仕事は対人ではなく対人。それに自己に対しての要求は厳格でなければならない。計画が完了したからといって成長するわけではない。「逆流の中では進まなければ衰退する」。今の自分の技術が他の人より優れているからといって何もしくてもいいわけではない。常に自己に対して厳しく、さらに自己を超えるべく精進することが必要。

八、一致団結  
後継の作業員が前の仕事に不良を発見した場合、それを教える。自分だけできるからといって偉そうな態度をとり、お互いに助け合うこと。一致団結の精神と力は必ず品質の向上を可能にする。最後にもうひとつ補足したいと思います。それは「まず人としてのあり方を学び、そのあとで仕事を学ぶ」ということです。生活の中でよい習慣を身につけることは製品の品質を向上させることと深い関わりがあります。みんな違っていいように品質を向上させていきたいと思います。実際に行動を起こすことで合璧がわたしたちにくれた思いやりに応えていきましょう。そしてともに合璧の輝かしい業績を打ち立てていきましょう。

上海合璧製造課 毛金皎



### 大姐の物語

長い黒髪と大きな目。笑顔が絶やさない彼女はいつも一生懸命働いています。ときには厳しい一面もあるため、同僚からは「女包公(中国の名裁判官「包公」の女版)」と呼ばれることもあります。しかし、仕事を離れたら、彼女はみんなに好かれる紳士的な存在です。彼女に何か頼み事をすると、その場で引き受けてくれます。そして全力で助けてくれます。彼女は平凡な一作業員です。しかし、平凡な中に羨しみと幸せを見つかることができる人です。彼女は「よい人にはよい報いがある。人に褒めを贈れば、その手に香りが残る」ということばを信じています。

わたしが彼女とはじめて会ったのは、彼女が3071ラインの品質検査員だったときです。そのとき彼女に話しかけようとする、彼女は「勤務中の私語は厳禁。話があったら休憩時間」といってわたしを制しました。彼女の厳しい表情、大きくこちらを睨む目。わたしはびっくりしました。そして心の中で「怖い人だなあ。でも、まじめ。でも、厳しくて優しい人……」とつぶやきました。しかし、ある事件をきっかけにわたしは彼女のことを理解したので。そして、それからは彼女のことを「大姐(紳士)」と呼ぶようになりました。

その事件とは苗苗の事件です(同僚の苗苗が交通事故で亡くなった事件)。彼女は傷心する苗苗のお母さんを11日にわたって世話しました。同僚はそんな彼女に「大姐、大丈夫?」と聞くと、彼女は「心配いらない。苗苗のお母さんが少しでもよくなれば、わたしのことは関係ないよ」と笑いました。彼女の言葉からは彼女の誠実で純粋、善良な心が伝わってきました。

彼女はわたしたちに「醬水麵」の話をしてくれました。それは病院で彼女が苗苗のお母さんの世話をしているときのことで。苗苗のお母さんは傷心のあまり物が口を通りませんでした。ある日「醬水麵が食べたい」といったのです。それを聞いた彼女はすぐに醬水麵を買いに出かけました。ところが、十軒軒の雑店を回っても醬水麵はありませんでした。それでも苗苗のお母さんが食べたいといった物です。何としても探さなければなりません。彼女は雑作り秀でた同郷の人を探して頼みました。そしてやっとの思いで醬水麵を手に入れたのです。天は努力する人を見捨てませんでした。彼女の献身的な世帯の結果、苗苗のお母さんは徐々に元気になっていきました。そして二人はたいへん仲よくなりました。彼女は人々のために全力を尽くす、人に喜びを与えます。そして飛び切りの笑顔を見せます。

みんなもうわかってと思います。彼女は李鳳美、わたしたちの大姐です。

上海合璧 品質管理課 耿偉龍



純朴で善良な紳士こと李鳳美さん

合璧は我等温もりの家；我は合璧を愛し、合璧は我を愛する；關心關懐關照 同心同歩同調！